



2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月14日

上場会社名 株式会社 Link-U 上場取引所 東
 コード番号 4446 URL <https://www.link-u.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 志村 優太 TEL 03 (6260) 9279
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	2,333	42.9	360	146.1	321	150.2	133	80.8
2022年7月期第3四半期	1,633	38.8	146	△35.6	128	△41.5	73	△47.2

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 129百万円 (69.9%) 2022年7月期第3四半期 76百万円 (△48.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	9.46	9.40
2022年7月期第3四半期	5.24	5.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	3,765	2,237	58.3
2022年7月期	2,860	2,130	71.9

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 2,196百万円 2022年7月期 2,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年7月期	—	0.00	—		
2023年7月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,006	32.1	406	245.5	358	313.9	145	330.2	10.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年6月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期3Q	14,171,700株	2022年7月期	14,132,700株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	68株	2022年7月期	68株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期3Q	14,134,203株	2022年7月期3Q	14,131,516株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和4年版情報通信白書」によると、2020年時点で名目GDP51.0兆円となっており、全産業の9.6%を占めております。

当社グループが注力する電子書籍市場につきまして、2021年度の市場規模は5,510億円と推計され、2020年度の4,821億円から689億円(14.3%)増加しております。2022年度以降の日本の電子出版市場は今後も拡大基調で、2026年度には8,000億円程度になると予測されております(インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告2022」)。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,333,966千円(前年同期比142.9%)、営業利益360,529千円(前年同期比246.1%)、経常利益321,825千円(前年同期比250.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益133,761千円(前年同期比180.8%)となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益(サブスクリプション)で構成されております。

当第3四半期連結累計期間においては、株式会社集英社と共同運営しているマンガアプリ「ゼブラック」に集英社公式書店サービスが統合され好調に伸長し、また、自社プロダクトである地震予測AIサービス「ゆれしる」も販売チャネルの開拓により成長軌道に乗っております。

この結果、リカーリングサービスの売上高は2,073,110千円(前年同期比154.5%)となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社グループがその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当第3四半期連結累計期間においては、海外向けマンガアプリを含む複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は260,855千円(前年同期比89.4%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,765,234千円となり、前連結会計年度末と比較して904,811千円の増加となりました。

その主な要因は、現金及び預金の増加611,868千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,527,973千円となり、前連結会計年度末と比較して798,308千円の増加となりました。

その主な要因は、長期借入金の増加588,740千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,237,261千円となり、前連結会計年度末と比較して106,502千円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が133,761千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月14日に公表した連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年6月14日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	923,961	1,535,829
売掛金及び契約資産	538,186	714,023
貯蔵品	691	622
その他	324,669	407,483
貸倒引当金	△4,529	△1,436
流動資産合計	1,782,981	2,656,522
固定資産		
有形固定資産	174,796	143,887
無形固定資産		
のれん	239,174	248,827
その他	51,885	41,872
無形固定資産合計	291,059	290,699
投資その他の資産		
投資有価証券	452,004	530,453
その他	159,085	143,043
投資その他の資産合計	611,089	673,496
固定資産合計	1,076,945	1,108,083
繰延資産	496	628
資産合計	2,860,423	3,765,234
負債の部		
流動負債		
未払費用	371,257	385,123
1年内返済予定の長期借入金	—	27,960
未払法人税等	30,568	93,673
賞与引当金	7,610	72,191
その他	320,229	360,285
流動負債合計	729,665	939,233
固定負債		
長期借入金	—	588,740
固定負債合計	—	588,740
負債合計	729,665	1,527,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	476,567	477,054
資本剰余金	362,660	368,957
利益剰余金	1,196,515	1,330,277
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,035,607	2,176,153
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,860	20,784
その他の包括利益累計額合計	21,860	20,784
新株予約権	420	420
非支配株主持分	72,870	39,902
純資産合計	2,130,758	2,237,261
負債純資産合計	2,860,423	3,765,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
売上高	1,633,197	2,333,966
売上原価	572,086	1,052,024
売上総利益	1,061,111	1,281,941
販売費及び一般管理費	914,620	921,412
営業利益	146,491	360,529
営業外収益		
受取利息	34	124
助成金収入	—	9,799
その他	3,993	2,113
営業外収益合計	4,028	12,036
営業外費用		
支払利息	—	2,815
為替差損	547	2,607
持分法による投資損失	21,178	31,280
暗号資産評価損	—	13,793
事務所移転費用	130	—
その他	62	244
営業外費用合計	21,917	50,740
経常利益	128,602	321,825
特別利益		
補助金収入	—	5,960
特別利益合計	—	5,960
特別損失		
固定資産除却損	—	1,653
固定資産圧縮損	—	4,276
投資有価証券評価損	—	41,645
段階取得に係る差損	—	29,501
特別損失合計	—	77,076
税金等調整前四半期純利益	128,602	250,709
法人税等	69,893	120,493
四半期純利益	58,708	130,216
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,278	△3,545
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,987	133,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益	58,708	130,216
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	17,302	△1,075
その他の包括利益合計	17,302	△1,075
四半期包括利益	76,011	129,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,289	132,686
非支配株主に係る四半期包括利益	△15,278	△3,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった株式会社Brightech及び同社の100%子会社であるバリューコンサルティング株式会社は実質支配力基準に基づき子会社となったため連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社Brightechは実質支配力基準に基づき子会社となったため、持分法の適用対象から除いております。

第1四半期連結会計期間より、株式会社Studio Moon6をStudio Boom Co.,Ltdと共同出資にて設立し、持分法適用会社の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(株式の取得による持分法適用関連会社化)

当社は、2023年6月6日開催の取締役会において、既存株主から株式会社ビューン（以下、「ビューン」という。）の普通株式の一部を取得し、同社を持分法適用関連会社とする旨の決議を行いました。

(1) 目的

マンガや雑誌の読み放題サービスを提供するビューンと、多くの出版社とともにマンガサービスの運用に携わってきた当社が、それぞれ培ってきたノウハウを生かし、より良いサービスを提供していくため。

(2) 株式取得の相手の名前

ソフトバンク株式会社 その他2名

(3) 持分法適用関連会社化する会社の名称、事業規模、事業内容等

名称 : 株式会社ビューン

所在地 : 東京都千代田区神田錦町二丁目2番地1

代表者 : 代表取締役社長 大石 隆行

事業規模 : 資本金 49百万円 (2023年3月末時点)

事業内容 : インターネットを利用したコンテンツ配信サービス等

(4) 株式取得の時期

2023年8月 (予定)

(5) 取得する株式の数及び取得後の持分比率

取得する株式の数 : 8,624株

取得後の持分比率 : 49.0%